



世界に希望を生み出そう



2023～2024年度 in2023年8月6日

赤平RAC活動紹介（RACの自立へ）

～地域に希望を育てよう（2510松浦ガバナーテーマ）～

～北海道赤平の小さな地域より「あたりまえ」の大きな希望を目指す～

**プレゼン：長谷川大介（赤平ローターアクトクラブ）
パスト地区RA代表・クラブ会計**

赤平RAC (2510地区)

～北海道のほぼ真ん中～



設立年月日：1976年5月20日（もうすぐ50年）
スポンサー：赤平ロータリークラブ（約20名）
例会日：毎月第2・第4水曜日（19:30～21:00）
テーマ：「剛柔（ごうじゅう）」
会員：8名（男性4名・女性4名）
所属：2510地区 第2グループ
人口：約9,500人（1万人切りました）



会長：松尾駿佑（地区RA広報）

幹事：上浦由莉子（パスト地区RA代表）

会計：長谷川大介（パスト地区RA代表）

広報委員長：：浅野知香（パスト地区RA代表）

広報：千田啓介（新入会員）

クラブ奉仕委員長：伊達大智（地区RA代表）

社会奉仕委員長：近藤絢香（地区RA幹事）

社会奉仕委員：臼谷七（地区RA会計）

<赤平RAC会員>

過去10年間、6名～10名程度で増減変動なし

会員全員が活動家の歴史を繋いでいる

男女比率も変化なし、年齢は20第後半～が多い

<赤平RAC所属と地域>

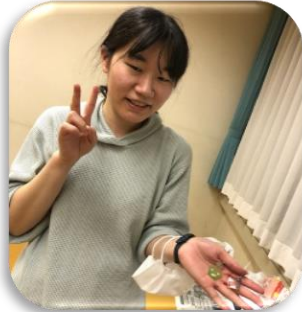
第2510地区（第2グループ）

※地区内約75クラブがあり、12のグループ構成。

全5クラブの第2グループに所属

地域団体交流

※赤平RC、赤平LC、赤平JCと合同行事



「少しずつ自立へ」 赤平RAC活動紹介 現在～未来

※全国の皆様のクラブと同じ様な活動かも知れません

※参考とならないかも知れません

(本日聴いてくださった皆さん、アドバイスしてください)

過去（前年・前々年）の大切な活動

※お時間の関係上、一部

サテライト型ワークショップ合同例会

例会名：**サテライト型ワークショップ合同例会**

ホスト：「RID2580 東京ワセダRAC」 「RID2610 金沢RAC」 「RID2680 豊岡RAC」
「RID2770 大宮RAC」 「RID2800 鶴岡RAC」 「RID2510 赤平RAC」

日時：2021年11月28日（日）

場所：各6クラブ会場（※ZOOMで全会場を繋ぐサテライト型 ※最寄りの会場へ参加）

内容：2019年規定審議会（RACの変更）に対するRACの自立と変化に焦点
グローバル補助金、クロスプロモーション、地域奉仕等のカテゴリーや
RACの自立、変化（人頭分担金、年齢制限、クラブ設立等）
「未来の可能性や想像」を会場毎にグループワーク

6クラブが中心となり、全国RACの仲間たちと勉強会を行えた。

※2510松浦ガバナー（ガバナーノミニ一年度）も赤平RAC会場にてご講評

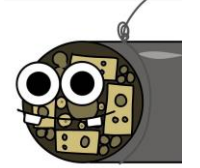


例会名：**みつばちワークショップ合同例会**

ホスト：「RID2580 東京ワセダRAC」 「RID2680 豊岡RAC」 「RID2510 赤平RAC」

日時：2022年9月3日（土）

場所：赤平市総合体育館（※懇親・宿泊：まるごとそらちキャンプ場）



内容：地区やエリアを越えた「3クラブ合同」のPJであり、講師は神戸須磨RACの阪本渚子さん。
阪本さんより「ハチと自然保護」に焦点を当てた講義、全員でハチが羽休めができる環境を創作

ロータリーコーディネーター補佐、地区代表副幹事、RC会長、RAC委員長にもご協力を頂いた

ハチが運ぶ受粉量もが減ると、作物・穀物・肉類の減（それによる価格高騰）ともこの活動は世界中の子どもたちの将来だけではなく、今後生まれてくる全ての人が暮らしやすいと感じられる世の中にする。こと。（子ども→子ども→その先の子どもへ）
成果や結果は解りにくい為、なおさら継続する意味がある。

「全国16クラブ（8地区より）」からの参加者で約40名で開催。

「全国RA研修会の学び・サテライト型ワークショップ合同例会」の意義と絆を大切にしたい例会
※以降～2500地区（帯広RAC、富良野RACと合同で自然保護の例会も）

bee project ワークショップ合同例会お写真



2023~2024年度 活動（予定含む）

※お時間の関係上、一部

火まつり例会（地区補助金申請行事）

2023～2024年度（7月15日～16日 ※2日間）

ホスト：赤平RAC

（参加：赤平RC・名寄RC・帯広RAC・富良野RAC）

<大まかな内容>

※地域の子どもたちの笑顔を増やしたい

1日目：人形すくい・射的

2日目：盲導犬募金・アンボール（的当）

2510地区は、今年度よりRACが地区補助金の活用が可能へ。

地区財団委員長へ相談をさせて頂き進めた。

（地区内ではRACが初な為、今後の参考にも）

461名の子どもの笑顔がみれた



第1回会長幹事会出席（2510地区 第2G）

2023～2024年度（8月1日）

赤平市にて開催

（参加：グループ内 4RC・1RAC）

<大まかな内容>

宇戸ガバナー補佐挨拶（お写真左上）

各クラブ挨拶&各クラブ活動報告 等

ロータリークラブの会長幹事会に赤平RACも出席
ロータリー（特に自分のクラブと身近な）の活動
や取組を学べる機会へ

※赤平RACは会長幹事会のみならず、
スポンサー以外の夜間例会（グループ内）にも

※第2回～も継続的に出席予定

※今年度ガバナー補佐が「RACの自立と将来」を
想像して希望へ

※身近なロータリーを知ることが重要



世界ポリオデー

※写真：前年度

2023～2024年度（10月）

ホスト：赤平RAC

スポンサー：赤平RC

参加案内：第2グループRC

第2グループ内のロータリークラブへご案内

※昨年度よりスポンサー以外のRCにご案内
こちらも継続して毎年度活動

※赤平ローターアクトクラブが中心に企画し、
グループ内のポリオデーを開催



IM（都市連合会） ※写真：前年度

2023～2024年度（4月）
赤平RC&赤平RAC 共同ホスト

<大まかな内容>

【自然保護活動】

bee project（DEI視点） 等



【各クラブ活動紹介】

芦別RC・砂川RC・滝川RC・赤平RC・赤平RAC

※第2グループ全5クラブ

bee projectは、2021～2022年度に第34回全国RA研修会（2680ホスト）より、赤平RACにおいて大切にしている継続的な取組
また、IMの懇親会内容も担う予定



教訓のお言葉（赤平RACを思い浮かべながら記載）



福井敬悟パストガバナー(ロータリーコーディネーターNEWS 2022年9月号より一部抜粋)

「ロータリーの原動力は友情です」「ロータリーは友情の扉です。みんなのために扉を開け放ちましょう」

地区やエリアを超えて共に活動することも
Imaginationが更に豊かになり
Realizationが実ります。

※福井敬悟様は赤平RC・赤平RACとの関りが強い方で、いつも励ましを頂いております。

赤平RCからの教え→RACが考える基本的な自立とは

- 「ありがとう」(感謝の気持ち)を素直に言えることが自立の始まり(赤平RC直前会長より)
- 君たちを信用信頼している。R1や赤平ロータリーを感じながら、好きな活動を、大切な事を思う存分やいなさい(赤平RC会長より)
- ロータリーとともにロータリーの行事をホストすること、そして知り合い(ロータリー仲間)を増やして可能性を拡げましょう。クラブホストでRYLAも良いね(赤平RC副会長より)
- 第2グループは赤平RACも同じ立場になってこそ(工夫はされど、お金の以外の自立を)、第2エリアの原動力となって欲しい(赤平RC所属 第2Gガバナー補佐 兼 赤平RAC第2代会長OB)

↑のようにスポンサークラブとの共同や一体的な関り、「同じ方向性」が必要。
これはローターアクトだけではなく、ロータリークラブの歩み寄りも非常に重要。
ローターアクトはロータリーの方に歩み寄ってもらえる普段の考動こそが大切。これも自立へ。

※クラブがホストして次年度以降～RYLAをやりたいとの声も(赤平RAC新入会員より)

「感謝の気持ち」「地域への奉仕」「未来子どもへの奉仕」を重点的とする
「ロータリーの一員」「国際ロータリーの方針」「赤平RCと協同」「第2グループのホスト」を自覚する
「基本的な知識」「見出せる活動」を追い続ける。進むか止まるかは「クラブ」そして会員次第!



世界に希望を生み出そう

赤平RAC

**まだまだ不十分や進み方の難しさを
感じながら進んでおります。
皆さんと手を取り合いながら進みます**

「希望」をありがとうございます。